		77 s	成27年度行	TAT≣	で価ミノー	・ト【個素	1		-	۰	•	_
評	価対象事業	——————————————————————————————————————	《CI 十皮门		評価者		一 管財課長	平成 27		6 月 保明	23	<u> </u>
				自治	自事務	主管課	管財課					
総務-	·15 車両管理	→務			三受託事務	関連課						
	総合計画上の 分野 行財政運営				策の方針	行財政運営						
1 事業の目的 2 平成26年度に実施した事業の概要												
対象 公用車・共用貸出軽自動車等 公用車・共用貸出軽自動車等を常に つまま (カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ									5、安全	とに利用 目	出来るよ	う
意心田	重・共用貸出軽日	自動車等を常に良好な状態に係	定期整備及び修繕を行った。 公用車の一般競争入札による調達及び廃車車両のインターネットオークションに									
め		- 八川泉山牡日朔平守で町に区別は小窓に体 ノたり。				よる売却を行った。 一 公用車に係る交通事故の処理を行った。						
果公用	車・共用貸出軽目	自動車等を安全に利用できる。										
3 事美	*費等基礎デ					- 3.1. <i>Inte</i>			Á	,,,,		
デム	データ区分	27年度当初予算	データ区分		26年度				\mathcal{A}	備 ·各年3月	考 21 日	
単	世帯数	177,243人 80,676世帯	世帯数		177,464人 80,368世帯					住民基次		į)
タカの	事業の対象者数	00,010 座冊	事業の対象者数		00,000) E III			\leftarrow			
	当初予算(千円)	27,800	決算値(千円)		18,4	120						
運	国県支出金	,	国県支出金		<u> </u>							
運営資源	地方債		地方債									
貨源	その他	3,000	その他									
状	一般財源	24,800	一般財源		18,4	120						
況	人員配置数	4.9	人員配置数		6.	4						
	人 件 費(千円)	37,602	人 件 費(千円)		48,3	307						
事	総事業費(千円)	65,402	総事業費(千円)		66,7	727						
経費営	市民1人当りの 経費(円)	369	市民1人当りの 経費(円)		37	6						
	対象者1人当り の経費(円)		対象者1人当り の経費(円)									
4 評価	五結果 <u></u>		「効率	座性」「妥当	性」「有効性」「	公平性」「協	働」について	は、ブ	ルダウン	で選	択。	
正式00万度市港中华 (八田主)。12.70万里中华												

4 評価結果				※「効率性」「安当性」「有効性」「公平性」「協働」」こついては、	ノルダリノで選択。					
	6年度事業実施 たっての課題	公用車による交通事故。 職員数削減に伴う、車両	~							
		公用車による交通事故を 職員数削減に伴う、自重			□ 解決□ 一部解決■ 未解決					
	解決の課題 fたな課題	公用車による交通事故。 職員数削減に伴う、車両管理事務の見直し。								
ᄽ	事業費に削減	域余地はないか		2. ない						
効率性	土 関連・類似事	業との統合はできないか		3. 統合できない						
	事業の実施に	に対する市民ニーズはある	るか	3. 変わらずにある						
妥当性	生事業の廃止・体	休止による市民生活への影	必響は大きいか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある						
	今後も市が実	実施すべき事業か		4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能						
는 사 N	事業の成果は	は得られているか		2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である						
有効性	[±] 事業の上位旅	施策に向けた貢献度は大	きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献してい	る					
公平性	生 受益者負担は	は公正・公平か	△.負担未導入	. △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることがで	きない					
協賃	動・古民笙と切録し	して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない						
九九 19	巾氏寺と協働し			協働実施済の場合のパートナー						
事業内	」 ■ b:事業内	内容を見直す ⇒ 内容は現状通りとする	見 □ 拡大 種直 □ 縮小	山市						
容の方 向性	「 □ c:事業を	と休止又は廃止する	あ □ その							
14) 17	_ □ d:他事業	業と統合し、本事業は廃止	こする =	⇒	事業へ統合					
予算規	□ A:予算規	規模を拡大する	事業内容•予							
模の方		規模は現状維持とする	算規模の方向	効率的な事業実施に努める。						
向性	□ C:予算規	規模を縮小する	性設定の理由							
総評		りに対応して、運転業務の この貸出の導入を検討して		「購入業務・維持管理業務(修繕・保険加入等)を各部総務担当 調査	果などに移管するこ					

Ц

〇 他市比較	・ベンチマー・	ク(県内外自	治体や民間	団体との比較	を値)					
比較事項										
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績 -										
13.117(1)										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
他巾头顺										
当該事業実施 他市比較に関										
考え方	990									
◎ 事業実施	に係る指標									
指標の内容						単 位		指標の 傾向	備考	
当該指標を	設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値 達成率							1	
指標の内容		277			1	単		は標の	備考	
	設定した理由	年次	H26	H27	H28	位 H29	H30	傾向 H31	W. 3	
	127001011	目標値		1121						
		実績値								
		達成率				単	±	[標の		
指標の内容				1		位	31	傾向	備考	
当該指標を	設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値 実績値							1	
		達成率							1	
指標の内容						単位		信標の 傾向	備考	
 当該指標を	設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値 達成率							-	
15 JE 2 4 4		连风华				単	#	 標の	,u	
指標の内容	=n -t- -m -			.,		位		傾向	備考	
当該指標を	設定した理由	年次 目標値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	-	
		実績値							1	
		達成率							1	
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										
● 事業に関する特記事項										
● 争楽に関する特配争項 □ 第3期基本計画前期実施計画重点事業 □ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業										